

スポーツ & カルチャー がんばる小・中学生!!

小学生

■第32回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会ソフトテニス大会
第3位 個人女子ダブルス小学4年生以下の部
海老澤帆夏・小林桃子ペア(下妻JSTクラブ)
【関東大会出場】

中学校

■第1回全日本中学生ライフル射撃競技選手権大会
第2位 ビームライフル男子立射60発競技 佐久間将樹(古河中等)

■第55回茨城県吹奏楽コンクール
金賞 B部門 下妻中吹奏楽部
【東関東吹奏楽コンクール出場】

■英語インタラクティブフォーラム茨城県大会
茨城県議会議長賞 中学2年の部 多田瑞生(下妻中)

親子で楽しむ 新しい砂沼荘

下妻市福祉センター砂沼荘で、「親子夏まつり」が開催されました。フィットネスマシン体験やストレッチ教室、親子アニメシアター、ジャンボシャボン玉、おもちゃ広場、かき氷などの多彩なイベントに約300人の親子が参加しました。同センターで子育て世代を対象にしたイベントの開催は今回が初めて。今年4月にリニューアルオープンした砂沼荘は、多目的ホールや交流スペース、和洋会議室、フィット



元気な子どもたちでにぎわう砂沼荘

下妻市の南の玄関口として、また地域活性化を目的に誕生した「やすらぎの里公園」で、地元蚕飼地区の住民による清掃ボランティア活動が行われています。

毎年5月から、9月の農繁期を除く10月まで、毎月1回交代で蚕飼地区内の5つの自治会が草取りなどを実施。同施設が完成した平成20年度から続く市民協働の取り組みです。

砂子自治会が担当した7月26日は、早朝から54人が参加。藏持薫区長からは「7月は祭りなどの行事も多く、予定をたてるのが大変ですが、協働の精神で自治会の皆で草取りをしています。きれいになったやすらぎの里公園を、ぜひとも多くの方に利用してほしい」と話が聞けました。



公園内の藤棚周辺を除草する参加者

蚕飼地区清掃ボランティア活動 7月26日
みんなの公園をいつもきれいに

砂沼荘「親子夏まつり」8月8日

ネスルーム、カフェコーナーのほか、南側と西側にウッドデッキが整備され、子どもから大人まで気軽に利用できる市民の健康施設として生まれ変わりました。

参加者からは「初めて砂沼荘に来た。子どもが楽しそうで、今後も利用したい」「砂沼荘は風光明媚で環境がいい。また来てみたい」などの話が聞けました。



フィットネスマシンを体験する参加者

有料広告欄



一面ヒマワリの小貝川ふれあい公園北側花畑

小貝川ふれあい公園の北側花畑1.9ヘクタールで、約10万本のミニヒマワリ「キッズスマイル」が鮮やかな黄色い花を咲かせました。高さは約1メートル、直径約30センチの大輪が花畑一面に広がり、訪れた人の目を楽しませていました。

今年から下妻の夏の新名所にしようと育てたもので、ポピーが咲き終わった6月に種をまきました。ヒマワリの見頃は8月中旬から9月上旬。ポピー畑の土壌改良にも一役買っているヒマワリは、来年も同時期に種をまく予定になっています。

また、南側花畑1.3ヘクタールの約150万本のキバナコスモスは、9月中旬に満開を迎える見通しで、10月初旬まで楽しむことができます。

ヒマワリ10万本満開

小貝川ふれあい公園の花畑で 8月24日



紙芝居で下水道を学ぶ参加者たち

限りある水の大切さや下水道事業の理解を深めてもらうと、市上下水道課が主催する「水の探検バスツアー」に、市内の小学生親子59名が参加しました。

東京ビッグサイトで開催された「下水道展'15 東京」の見学では、子ども向けの「スイスイ下水道研究所」で、紙芝居やクイズを解きながら水の循環に下水道がどのような役割を果たしているかなどを親子で楽しく学びました。

「ツマラン管」体験コーナーで、ティッシュペーパーとトイレトペーパーをそれぞれ水で溶かして流す実験をした萩原智輝くん(下妻小5年)は「ティッシュの入った水は詰まってしまうので、家では流さないように気をつけたい」と話し、下水道の知識を深める体験となりました。

親子で下水道の世界をリアルに体験 第9回水の探検バスツアー 7月30日

まちのわだい

Town Topics

普段一緒に料理をする機会のない祖父母とのクッキングを通して、共同作業から生まれるコミュニケーションや、料理に世代や性別の垣根がないことを体験してもらおうと、食育・男女共同参画を推進する料理イベント「おじいちゃんおばあちゃんと一緒につくろう!」が、千代川公民館の調理実習室で開催されました。

市内の小学生とその祖母6組13名が参加。市の管理栄養士と食育改善推進委員を講師に、夏の食事にもってこいの料理「甘酢スタミナ丼」「きゅうりとツナのマヨサラダ」「すいかのゼリー」を作りました。

「難しいけど頑張る」と教わりながら野菜を切ったり、肉を炒めたりする孫の姿に、おばあちゃんからは「孫と一緒に料理をする機会はないからうれしい」と話が聞けました。

おいしい楽しいおばあちゃんとクッキング 男女共同参画・保健センター・食育共同事業 7月31日



おばあちゃんと一緒に調理する子どもたち